

令和7年度（2025年度） 第4回小原地域会議 会議録

開催日時	令和7年7月29日（火）	開会 午後6時30分	閉会 午後7時45分		
会 場	小原支所 第1会議室				
出席者	委 員	景山卓己、増岡正博、加藤元紀、山内明、成瀬啓一、田澤由佳、鈴木孝典、無州麻美、安藤茂則、成瀬友昭、板倉正典、濱辺誠一			
欠席者	竹内正美（会長）、白川悠理（副会長）、伊藤大悟、大林鐘次、岡田口治、小出透				
次 第	<p>開 会</p> <p>1 協議事項</p> <ul style="list-style-type: none">・里の駅構想機能検討業務について・里の駅に持たせたい機能について <p>2 その他（連絡事項・配布物等）</p> <ul style="list-style-type: none">・小原ラリー進捗状況・市場城跡発掘調査・新規 地域課題解決事業（支所提案） <p>閉 会</p>				

■議事要旨

1 協議事項

里の駅構想機能検討業務について

（事務局）地域会議で話し合ってきた里の駅について、専門家（コンサルタント）を招いて基本となる構想をまとめていく。コンサルタントの業務を説明。

- ・地域会議に参加し、意見聴取（交換）して将来像を描く
- ・課題の整理と対応策を検討
- ・実現可能な方向性を定め、役割分担や工程（スケジュール）まで提示してもらう

※地域会議には3回参加

（委員意見）

- ・専門家に入ってもらって一緒に取り組んでいくという理解。コンサルタントとキャッチボールをしながらペース配分含め完成図を固めていく。
- ・地域に持ち帰って情報共有できる場がない委員もいるため、地域会議に意見を戻すにはある程度の時間が必要。また、各地域へ意見収集のために持ち帰る資料等があるとよい。

- ・区長会で事前に地域会議の情報を伝えてもらうと、寄合等で地域会議委員が意見収集がしやすくなる。

里の駅に持たせたい機能について

(委員意見)

- ・スケボー（スケートボード）パークなど先行して行いたい事業についても、コンサルタントに相談したい。
- ・例えば、和紙のふるさとの漆工芸館に観光協会に常駐してもらい、観光マップや飲食店紹介案内等を置いてもらうような形はどうか。どこの地域も観光マップ等を見ると観光関連のすべての窓口は観光協会となっている。小原地区もそのような形にしてみてはどうか。

(事務局)

今後のコンサルタントとの意見交換ではこれまでの議論に加え、更に意見を出してもらいたい。